

会員の声

草刈り班に入って

高宮 幸男



設立30周年記念おめでとうございます。

平成18年に定年退職し、家では何もする事もなく、日々過ごしているうちに、シルバー人材センターの活動を知りました。

元々体を動かす事が好きだった私は、平成20年に会員になりました。農家にとって草刈りが一番大変な事を知り、挑戦しようと草刈り班を希望しました。

今後、少子高齢化の中で高齢者の存在は重要であり、社会貢献することは大変意義あることと考えました。初日は一日勤まるか不安な気持ちを抱えたままの出勤でした。自分なりに体力には自信があるつもりでいましたが、想像以上に疲れました。先輩や仲間に支えられ、休憩時間や昼休みの世間話や冗談などが出て、疲れも癒され楽しい時間になりました。会員の方は色々な仕事を経験されそれぞれ得意な分野を持っており、知識や話題が豊富な方が多く今までの職場とは全く違う新しい社会勉強の場となりました。

もちろん猛暑の中の草刈りは家族に心配をかけ、反対されながらもどうにか乗り越えてきました。それ以上に達成感やお客様に喜ばれ、感謝された時が最高の気持ちです。毎日新しい一日が始まる事に生きる活力になってきました。

コロナ禍の中、会員の皆様と共にこの難局を乗り越え、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき会員相互扶助と親睦を図り、地域の皆様に信頼され愛されるシルバー人材センターを目指し、益々発展する事を祈念致します。

新型コロナウイルス禍

宗像 隆夫



設立30周年記念おめでとうございます。

令和2年は年明け早々から新型コロナウイルス禍に翻弄され、未だに世界中に蔓延し収束の気配が見えない状況となっております。誰もが普通の生活がしたいと願っていることと思います。

また、東京オリンピックも令和3年に延期となり今後開催されるかどうかも分かりません。さらに、イベント的なものは規制・制限され、これから先の事は不透明です。

早く、このコロナウイルス禍が収束となってほしいと思っております。シルバーもコロナの影響があり、売り上げがダウンとなっておりますが、我々会員はコロナにめげず、責任をもった仕事に精進し頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

仕事は楽しく

高久 一郎



「仕事の依頼ですか？」

『いや、会社を定年退職したものでシルバー人材センターに入会して仕事をしたいと思います』

これが局長との会話のはじまりです。

「高久さん、収入を得たいならハローワークに行くのも一つの方法ですよ」と局長

『実はハローワークに知り合いの職員がいて、簡単に仕事をするならシルバーの方がありますよ』と言われました。

「であれば、シルバーに登録して、自分に見合った仕事を探してはどうですか？」

このような遣り取りが、私とシルバーの出発点です。

その後、数ヶ月が経過。

事務局から「秋になったら草刈りの仕事も減る。今度、植木の剪定講習会があるので参加してみてもどうか」と提案があり受講。

せっかく受講したから植木をやってみようと職種転換。先輩に教わりながら3グループある班の一つで活動し、剪定も出来るようになりました。

その中でいつも《自主・自立・共働・共助》の理念を松の木の上で言っていた先輩を思い出します。

今まで先輩が築き上げてきた30年間の成果を大切に、これからも健康に留意し、仕事は楽しく！

“また来年も頼むよ”とお客様に喜ばれることで生きがいを感じ、そして社会参加に努めてまいります。

シルバーでの楽しい事、嬉しい事

田中 敏夫



私が那須町シルバー人材センターに入会后11年程経過しました。

その間の楽しかった事や嬉しかった事を書きあげてみます。

入会3年目頃から襖・障子の張り替えの仕事を始めました。先輩に紙を切るカッターや糊刷毛の使い方を教えてもらいました。一見、簡単そうでもなかなか上手くいかず悩んだものです。

先輩と自分のやり方のどこが違うか比較、検討、工夫をしてやっと出来るようになった時の嬉しさは格別なものでありました。現在でも今まで以上に出来栄を良くしたいと思い、工夫をこらしながら仕事を進めています。その結果、納品の時にお客様から「あんなボロ襖がきれいになった」とか「部屋が明るくなった」と喜ばれたりすると私たちも嬉しくなります。

仕事以外でも多くの楽しみがあります。シルバーの日の奉仕作業の後に行うレクリエーションも楽しいものです。普段は顔を合わせない人達が競技を行い、その結果に一喜一憂する様子も楽しいものです。そのうえ、成績が良く、賞品をゲットすれば尚更嬉しいものです。

互助会の旅行や新年会も楽しい思い出です。宴会の席での芸能大会などは、芸達者が揃っていて、美声を聞かせる人、曲調によって尺八を変えて演奏する人、アコーディオンで伴奏をする人、日本舞踊を踊る人と多士済々で感心し、楽しませてもらいました。そのうえ、皆が輪になって盆踊りを踊ったのも楽しい思い出です。

一番楽しみなものは「配分金」です。誰に遠慮することなく自分の趣味に使えるという事も喜びです。時には家族と出掛け、好きなものを食べ、ありがとうと言われる事も嬉しいものです。この様な楽しい事、嬉しい事を経験出来るシルバー人材センターに入会出来てありがたいと思います。

今後、どのくらい在籍出来るかな？ 身体が続けばいいなあ！

那須町シルバー人材センターの 思い出

大友 春夫



シルバーセンター30周年おめでとうございます。

私も入会10年を過ぎました。

入会の動機は会社勤めも終わり周りを見ると世間が見えなかった事で社会への参加を目的に入会しました。

最初の仕事は週2日、1日1時間程度の弁等配達です。

配達日には数人の仲間とおしゃべり、配達先でのおしゃべりと時間の無駄使いと思いつつも充実した一時を楽しみました。

私は単発な仕事が結構多く、多くの人に出会いました。

特に大きいのは2011年の震災で放射能の拡散により那須町にも降りました。放射能を除染することになり放射能の事前測定そして事後測定を約3年にわたり参加した事で町全体の様子を見る事が出来ました。

会員が一堂に集まる総会、互助会の新年会等会員が集まり意見交換、酒を飲みかわしおしゃべり、カラオケ等元気で楽しいメンバーで少しでも住民の役に立つシルバーで在りたい。

そして新型コロナの終息を願い。シルバー人材センターの益々の発展を祈念します。

設立30周年を迎えて

三森 長一郎



設立30周年おめでとうございます。

私がシルバー人材センターに入会したきっかけは、地域社会に「何らかの役に立ちたい」という思いからです。それから6年の月日が経ちました。

ここで出会った仲間との交流が生きがいとなり、大変充実した日々を過ごしています。

普段、私は草刈りや伐採作業に従事しています。そのなかでも、私が一番大切にしていることは「チーム力」です。もちろん人間ですから、意見が合わないこともあるでしょう。人間関係は難しいものです。だからこそ「皆で助け合っていこう」精神のもとで、協力し、助け合いながら仲間たちと前を向いて進んでいくことが重要なのではないかと考えています。

また、草刈りや伐採は機械を使用する作業になりますので、常に危険が潜んでいます。何度も作業している場所でも油断せず、事故を起こさないよう細心の注意を払いながら作業をしています。そんななか、令和2年度から安全適正就業委員会の副委員長に就任し、より一層安全に対する意識が強くなりました。委員長とともに会員との情報共有や周知の徹底などにより、事故の防止につなげていきたいと考えております。

お客さんからの「ありがとう」の言葉を仕事の糧に、これからも体力の続く限り仕事を続けていきたいと思っています。

また、シルバー人材センターがこの30周年をさらなる飛躍の契機として、今後ますます発展されるよう祈念いたします。

設立30周年を迎えて

平野 実



このたび創立30周年を迎える節目の年となりました。那須町シルバー人材センターは、様々な変革の中、30年間の歩みで、規約・規範を現在の姿に変えてきたと思います。

設立時は、廃止となった畜産センター（馬市場）の一部を借り、机を一つ置くと数人しか入れない事務所であったそうです。初代理事を務めた先輩、現在89歳の方が苦労話を、2年前の町内の慰労会酒席でよく話されていたことを思い出します。先輩は植木が好き、毛筆が得意な方で、毛筆の扱いは一人しかいないので一手引き受けて、よく別荘滞在者から年賀状を作成することや植木の剪定作業が多くあったそうです。

過去には、どのような仕事があったらうか。手書きからワープロ、よりパソコンと時代が変化してきました。当時は携帯電話もなく、連絡体制はどのようだったでしょうか。那須町は幸い、観光に携わる業務と緑地が多く、多種多様の仕事で地域の皆様に誠意をもって汗を流してきたのでしょう。

会員数も平成15年ごろより団塊の世代が増え、就業人数・契約・事業収入が伸びていたところであったが、平成28年ごろから少子化現象により空き家が増えるに従い、受注件数が年ごとに少なくなり、令和元年後半より全世界を揺るがしている最悪な新型コロナの影響ですべての業種が減少しているのが現状であります。コロナ禍でも新緑、炎天下の節でも受注が間に合わない時期があるでしょう。

自ら熱中症・事故に注意し、常に安全の意識を心に啓発し、ゼロ事故を目指そうではありませんか。

コロナ禍の新しい生活様式が求められるなど、益々難しさが増しておりますが、この苦境を乗り越え疫病が終息し、いつもの平穏を取り戻した暁には、会員一同レクリエーション・親睦会・旅行等で創立30周年を笑顔で祝おうではありませんか。

！気を緩ますことなく感染対策をしっかりと！

夢舞台

岡村 和行



那須に移住しておよそ15年。
こんなに穏やかで、安らかな暮らしができるとは
想像もしておりませんでした。
浮世の垢にまみれた心もすっかり綺麗になった気
がします。

毎日が楽しく夢の中にいるようです。
何を食べても旨い。何を見ても美しい。何をしても楽しい。
以前には無かった自分の時間もたっぷりあります。たとえ仕事でも楽しければ自分の
時間です。

いい思い出もたくさんできました。
シルバー人材センターは思い出作りには最適な場所です。同時に適度で快適な、喜び
を感じる為のストレスを与えてくれます。

私に係わってくれたすべての人、すべてのモノに感謝します。感謝というありふれ
た言葉ではとても足りませんが、いくら考えても他に最適な言葉が見つかりません。

満足な暮らしとは言え目標とか希望がないわけではありません。このままの暮らし
が1日も永く続くこと、そしてこの地で天寿を全うしたいと強く願っております。
その為にはシルバー人材センターは欠かせません。

永く年を重ねて解ったことのひとつに、大切なもの程、失なったり壊れたりしやす
いように思います。今はそれが少し不安です。

とりとめのない、文章になってしまいましたが偽らざる本心です。

一日中自分の時間。

主役は自分自身。

そんな私にとっての夢舞台の幕が今日も開きます。

シルバー人材センターと 歩んだ10年の生活

西川 揮一郎



シルバー人材センターは丁度、平成の時代30年と共に飛躍的な進歩をとげたと思います。初代事務局長から13名の方々、又、スタッフの皆様方の積み上げた努力が実ったものと思います。

私は、横浜より11年前に那須に永住して、シルバー人材センターに登録しました。今年で10年になります。

最初は那須になじみがあまりなく、色々と身体を動かしたいこともあって、何でもやってみようと思い入会しました。

草取りや農家の畑仕事の手伝い、清掃業務、管理事務等々。始めは慣れない事もあり、会員の皆様にはだいぶ迷惑をかけましたが、それでも一生懸命やった事、又、親しくなれるよう働いてきました。一緒に仕事をした方々皆様、誠実で良く体を動かし、和気あいあいと働いてまいりました。これもシルバー人材センターのスタッフの方々、又、会員一人一人の努力がこのように、那須町シルバーありと発展したのではないかと思います。人生の中で色々な方とお会いして親しくしていただきました。人と人とのつながり、和ができ充実な生活ができていると感じています。

30年を迎え、又、益々40年～50年と躍進していくのではないかと！

これからも仕事を楽しく、身体を良く動かしていくのが一番です！

頑張ってください！

老後の生き甲斐と社会貢献

丸田 節子



当時は長年勤めたたばこ組合を早期退職して、8年間の義父の介護と看取りをすませ、ほっと一息ついたところでした。

本来体は丈夫で医者いらずでしたので、これから夫婦二人で好きな事をしてのんびり年金生活を送ろうかと思っていたところ、その頃シルバー人材センターで事務局長をしていた知人から、奇麗好きと責任感の強さを買われてシルバー会員登録を勧められました。

最初はあまり気乗りしなかったのですが、施設掃除を紹介され、段々仕事にも慣れてきて、仕事の実績や精度も認められ、楽しく働かせていただいで振り返れば、早いもので会員歴12年目になります。

以前、シルバー主催の講習会で高齢者の認知症防止と健康管理、体力に必要な「今日用（教養）・今日行く（教育）」に参加したお陰で多くの人との関わりをもてたり、色々な経験を通して勉強もできました。

これからも体力と相談しながら、出来るだけ長く社会貢献出来るよう頑張りたいと思っています。

那須町シルバー人材センター設立30周年の節目の時期に遭遇出来る事は此の上ない慶びであります。

シルバー人材センターの益々の発展と会員皆様のご多幸を御祈念申し上げます。

笑顔を見せて

鈴木 かずゑ



那須町シルバー人材センター設立30周年おめでとうございます。

私は、臨時職員として9年弱、その後会員として3年間シルバー人材センターにお世話になりました。現在も会員として在籍させていただいております。

30年前の設立時の苦労話を、当時の事務局職員や会員さんからお聞きしたことがあります。

古い建物の一角に場所を与えられ、事務局と数名の賛同者で試行錯誤をしながら会員になってくれる人を勧誘したり、お客様を開拓したり。また、当時は会員も自家用車を持っている人は少なく、会員をお客様の家へ送り届け、帰りの時間にはまた迎えに行くという状態であったようです。広い那須町をあっちへ行ったりこっちへ行ったり、今では考えられないようなご苦労が沢山あったそうです。

現在私は、近所の男性の独居老人のお宅を会員2名で清掃やその他の家事作業をさせていただいております。「2人が来てくれる木曜日がとても楽しみなんですよ」と言ってくださり、私たちもとても励みになります。休憩のときには3人で全国の観光地等の思い出話や昔話に花が咲き、つい時間を忘れてしまいますが、3人の“笑顔”あふれるその時間が利用者様はとても楽しいそうです。

私は現在75歳ですが、この年齢で、楽しく配分金をいただくことが出来るというのはとても恵まれていると感じております。

私も“笑顔”で誠心誠意勤めさせていただき、いつまでも利用者様の“笑顔”を見させていただきたいと思っております。

シルバーで過ごした17年

泉 理人



私が那須町シルバー人材センターの会員になったのは2004(平成16)年4月、この町に引っ越してから数年経ち、少し慣れた頃でした。

1年後、高齢者世帯への弁当配達事業が始まりました。独居または老夫婦だけのお宅へ弁当を届ける仕事です。「いつもありがとう」「美味しかったよ」や逆に「前回のメシは硬すぎた」「おかずが気に入らん」などの感想を聞くのが楽しみでした。玄関で声を掛けても返事がなく心配して家に上がったら奥の部屋で就寝中だったり、「財布がない!」と家中を探す奥さんを待っていたり…などいろんなことがありました。この仕事は10年以上続きましたが、2年前に別の事業者に移って終了しました。

元禄時代に松尾芭蕉が訪れ、今も遊行柳があって俳句愛好者の聖地となっている那須町は俳句の盛んな町です。「柳まつり全国俳句大会」に全国から寄せられる句稿は毎回八百句近くに及びます。それらをパソコンで入力する仕事を10年以上続けています。俳句には色々な約束事があり、独特の難しい言葉もたくさん出てきます。柳絮、鶉、虎杖、蝌蚪、凌霄、糶……これらは一例ですが、何と読むか興味のある方は漢和辞典を引いてみてください。

振り返ってみるとシルバーに入ってから17年が経過しており、初めはうんと若い方だった私も、今は上から何番目という齢になってしまいました。シルバーに世話になったナ、と感謝しながらもう暫く仲間に入れておいてもらおうかなと思うこの頃です。